

令和4年度 第2回 西淀川区地域福祉推進会議議事要旨

令和4年12月1日
午後6時30分～8時
区役所5階会議室

出席委員 18名

事務局 区役所 貴志保健福祉課長、井岡保健福祉課長代理、岡地保健福祉担当係長
区社協 麻井事務局長、西川地域支援担当係長、金子

1. 自己紹介

【資料1】委員名簿

50音順に自身の活動について自己紹介

2. 委員長選出・職務代理の指名

満場一致で次の通り決定

委員長：伊原委員

職務代理：池田委員

3. 各部会からの報告

「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」部会

- ・継続して登録説明会を開催し、活動者を募集している
- ・登録：23名、活動：約10名
- ・活動先…9施設（清掃・こども食堂での調理補助・エコキャップ洗浄など）
拡充に向けて、12月7日(水)施設説明会を開催予定
- ・年度末に向けて、ステキなものについて検討し、具体化している
- ・課題…きらりにしよど、自立支援協議会にて周知はしているが、活動者・活動先ともに周知が不十分である

【部会員より】

- ・コロナ禍でボランティアが減少したが、ちょこっと♡助っ人に来てもらって、助かっている
- ・活動先としてこども食堂にも協力いただくよう声かけしていく

「となりのお節介さん」部会

- ・認定者：11名、登録につながった方：5名
- ・登録者にはインタビューを実施（現在4名）
- ・インタビューの際に使用するオリジナルのしゃもじ、認定者に渡す特製缶バッチの作成
→興味を持ってもらうきっかけ、活動のPR

- ・インタビューをもとに「ステキな“となりのお節介さん”だより」を作成する
- ・推薦書類等手続きや他薦のみである等、わかりにくい点もあるため、今後の部会で改めて検討する

- ・課題…活動の周知はしているが、まだまだ推薦が少ない

【部会長より】

- ・本来の目的は地域でなにかしてくれている方を発掘する事である
- ・活動している事は知っていても、認定し、インタビューをすることで、改めて活動のきっかけや活動への思いを聞くことができた
- ・インタビュー記事を用いて周知し、推薦を増やしていきたい

「ウエルカムバンク」部会

- ・R3年10月から32組39名の方に「数珠つなぎインタビュー」を実施
- ・インタビューから見えてきた課題から、9月よりにほんごカフェを開始
第3木曜日 18時～20時30分、第4月曜日 13時～15時30分
- ・課題…にほんごカフェの周知をしているが、外国籍の方の参加者が少ない

【部会長より】

- ・外国籍の方をサポートしたいという思いを持っている方が多くいる
- ・英語で話される方もいるが、やさしいにほんごを用いて、交流を図っている
- ・気軽に参加してもらえよう周知をしていく必要がある

4. 評価委員会の開催について

日時：令和4年12月12日(月) 午後6時30分～

場所：西淀川区社会福祉協議会 3階 会議室

内容：評価の方法について

委員：池田委員・鴻上委員・福田委員・藤江委員・藤浪委員・吉見委員

5. グループワーク 「西淀川ささえあい♡プラン」の区民への浸透策について

- ・4グループに分かれて3部会の周知方法について検討

【ちょこっと♡助っ人ポイント制度】

- ・ポイント交換場所を区役所 玄関など目に付く場所にする
- ・口コミで広げられるよう、老人クラブなど人が集まる場所で周知する
- ・A3サイズのポスターなど大きな物を作成する
- ・大阪市内の施設（学校など）や事業所からの依頼を募る
- ・ウエルカムバンクや社協のイベントで依頼する
- ・テーマを明確化し、得意な人を集める 例) 釣りや絵本の読み聞かせ など
- ・イベント時の自転車整理などには人手が必要になる

【となりのお節介さん】

- 活動している方が「認定される」「公になる」事に気が引ける方もいるのではないか
- 活動のスポットをあてて、紹介した方がよいのではないか
- 多くの人の目に留まるように区役所などにポスターやインタビュー内容を掲示する

【ウエルカムバンク】

- 外国籍の方だけでなく、日本人の方にも周知できる方法
- 海外の方が集まるレストランで告知をする
- 食にまつわるイベント（多文化交流）
- 海外の方との料理教室

6. あいさつ

- 西淀川区保健福祉課長：貴志嘉範
- 西淀川区社協事務局長：麻井 郁

次回：令和5年3月頃